

Tokyo
Metropolitan
Nurse
Plaza

ナースバンクだより

No.14
2025. Feb

【東京都ナースプラザ】

ナースバンク東京・立川は、東京都が設置している都内で唯一の看護職専門の無料職業紹介所です。
看護職の募集・採用を安心してご利用いただけます。(運営は公益社団法人東京都看護協会が受託しています)

新卒者用の求人票を 登録しませんか？

～新卒看護職への支援の取り組みを強化しています～



近年、新卒看護職員離職率は全国的に増加傾向にあり、東京都も10%以上が5年続いています。

新卒看護職員の離職率の推移

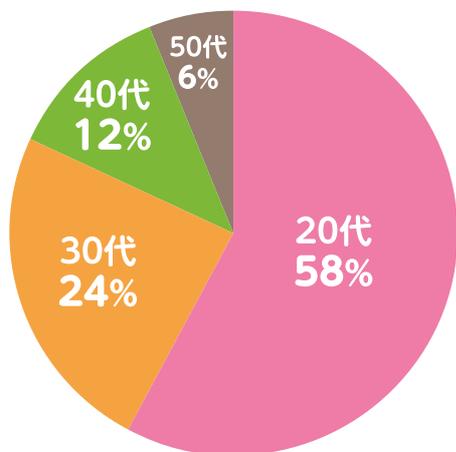


データで見る新卒看護職の傾向

eナースセンター登録の新卒看護職のデータより、2024年12月末時点でeナースセンターに登録している東京都在住の「就職活動をしている」看護職3,068人のうち、看護職経験1年未満の新卒看護職98人(2022年4月1日～2024年12月末の登録者)のデータから傾向をまとめてみました。

【年代】

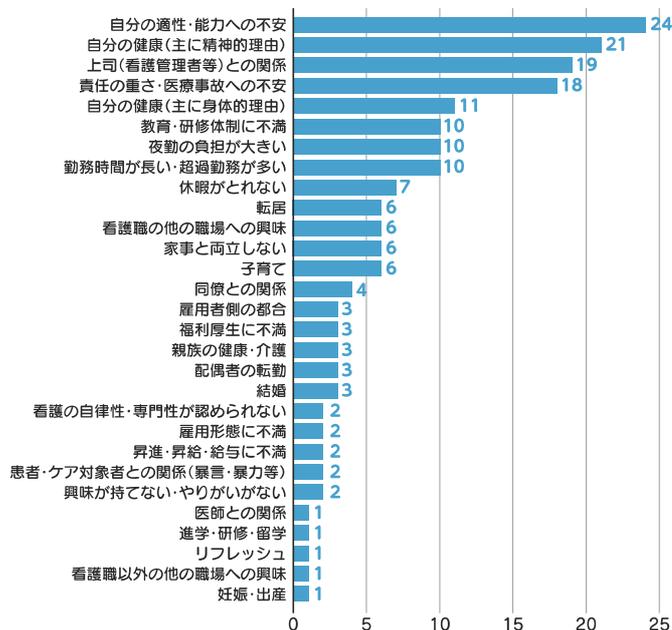
n=98



社会経験を積んだ30～50代が全体の4割強でこの年代が増加しています。社会人経験者は対人関係構築などのスキルが一定程度習得されているものの個人差が大きいと思われるので、個々の能力に応じた育成や支援がより一層必要と考えられます。

【退職(したい)理由】(複数回答)

n=98



退職(したい)理由で最も多いのは「看護を担う不安」です。看護職としての職責を実感する新人の時期は、研修や教育などを通して看護や仕事の楽しさを知り、自信に繋がるような支援が必要であると思われます。職場内の指導や外部研修などでの知識・技術の習得、新人看護職間の交流による不安の軽減など、職場内外の支援体制を整えることが離職予防につながると考えられます。

東京都ナースプラザでは、都内施設に勤務する新卒看護職を対象に「新人看護職員7日間研修」を行っています。バンク系からも受講者へ相談窓口についてご案内し、就業継続の相談に繋がっています。

また、就職活動を始める看護学生の就職相談にも力を入れていますので、施設の方々には新人に特化した求人票作成をお願いいたします。右記に新卒者用の求人票作成のポイントをお伝えします。



新卒者向け求人票作成のポイント

① 職場を見学・体験できる機会をPRする

施設見学(施設説明会・見学会なども含む)、インターシップなど学生が実際に職場を見学・体験できる機会をPRします。日程や申込方法も記載しましょう。

② 入職後の教育体制・研修体制をイメージしやすく記載する

入職後の教育体制は学生の関心が高いため、イメージできるように記載しましょう。

令和6年度「施設セミナー」を開催しました

バンク系では医療施設等の管理者を対象に、看護職の定着対策として「施設セミナー」を毎年開催しております。

今年度は「実践に活かせる社会人基礎力～チームとして成果を出すための多職種との協働～」をテーマに高橋 恵先生(聖マリアンナ医科大学 看護師対策部門担当執行役員・ナースサポートセンター長)を講師に迎え、2024年9月12日(木)東京都看護協会会館で開催しました。

今回は会場での受講に加えオンラインも受講していただけるよう準備し、当日は会場とオンライン併せて68施設、144人と多くの方にご参加いただきました。高橋先生の講義・グループワークでは、社会人基礎力「前に踏み出す力」「考え抜く力」「チームで働く力」を用いたスタッフの評価・フィードバックの方法を学ぶことができ、グループワークでは参加者同士の活発な意見交換がなされました。参加者アンケートでは参加者の満足度も高く、現場に活かすことができるとの回答を多くいただきました。アンケート回答には「新卒採用者のみならず、スタッフ教育という視点で考えると、応用が効く内容でした。」などの反応をいただきました。グループワークについては「悩みや困っていることが似ていることが分かった。」などのお声をいただきました。



高橋先生の講義の様子



会場でのグループワークの様子

バンク系主催の「施設セミナー」は、今後も施設の管理に役立つ内容を企画していきます。eナースセンターに登録がなくてもご参加いただけますので、次年度秋に開催予定の「施設セミナー」にぜひご参加ください。

求人・求職のご相談は、無料職業紹介所

東京都ナースプラザ ナースバンク 東京・立川

ナースバンク東京(月～土曜9:00～17:00/金曜のみ18:00)

〒160-0023 東京都新宿区西新宿4-2-19(公社)東京都看護協会会館2階 TEL 03-5309-2065

ナースバンク立川(月～金曜9:00～17:00)

〒190-0012 東京都立川市曙町1-21-1 いちご立川ビル6階 TEL 042-529-7077



<https://www.np-tokyo.jp/>

東京都ナースプラザ
2025.2.6

オンデマンド研修

無料

ナースプラザによる

看護補助者

としての就業に向けた研修

事前収録した講義動画をインターネットを使って自分のペースで受講できます

看護補助者ってどんなお仕事？

看護補助者は看護チームの一員として、看護師の指示の下で看護の補助業務を行う職種です。看護補助者は、医療機関によって「看護助手」や「ナースエイド」など様々な名称で呼ばれています。



対象

看護補助者(看護助手・ナースエイド)の仕事に興味のある方

内容

- | | |
|----------------|-----|
| 1. 医療チームの機能と役割 | 30分 |
| 2. 看護補助者の業務 | 30分 |
| 3. 看護補助者としての心得 | 30分 |

受講方法

- ①ご自宅 または
- ②予約制でナースプラザ館内での視聴も可能

就業相談はハローワークで行っております

お申し込み

東京都ナースプラザホームページから ※詳細裏面参照



東京都ナースプラザ研修係

TEL 03-6304-2077

<https://www3.np-tokyo.jp/trainings/>

設置主体  東京都



研修申込から受講の流れ



1 eナースセンターに登録

新規に求職者登録を行い、求職者番号を（Kからはじまる7桁の数字）取得 ※研修申込に必要



2 東京都ナースプラザホームページでの新規個人登録と研修申込

eナースセンターへの登録が終了したら、新たに東京都ナースプラザのホームページを開く



3 「ナースプラザ研修」を選択

上部の「研修を希望する方へ」を選択し、さらに「ナースプラザ研修」を選択



4 新規登録

スクロールし「研修申込み」の「詳しくはこちら」から「新規登録」へ
※「1」で取得した求職者番号が必要



5 ログインし研修申込

新規登録後は「研修一覧」から当該研修を選択して申込み
※申込み後、研修申込受付完了メールが自動送信されます。
あらかじめ「@np-tokyo.jp」からメールを受信できるように設定してください。

6 受講者ID・パスワード発行



申込後、2週間を目途に「eden LMS」から受講者IDをメールでお知らせします。あらかじめ「notice@eden.ac」からメールを受信できるよう設定してください。受講に必要な環境整備をお願いいたします。

ナースプラザ内での受講を希望される場合は、事前予約が必要なため研修係までご連絡ください。その後日程をメールでお知らせします。

7 受講→アンケート回答→修了証ダウンロード

受講は90分程度です。受講後のアンケート（1分程）に回答すると修了証がダウンロードできます。

2025.2.6

東京都ナースプラザ

2025年(令和7年度) 一日看護体験学習

実施 **5月12日(月)~16日(金)**
対象 **高校3年生**

実施施設募集中

2月7日(金)まで

受付中

まだ間に合いますヨ

実施 **7月28日(月)~8月8日(金)**
対象 **中学2・3年生、高校生**
社会人

実施施設募集中

4月7日(月)まで

受付中

令和6年度のご協力、どうもありがとうございました。
来年度もより多くの方に体験いただけるよう、ご協力をお願いいたします。

参加者の推移

R5年度 参加者数

1,338名

R6年度 参加者数

1,597名

19.4%増

体験後、実際に看護系に進んだ方

R5年度進路調査より

高校3年生及び社会人 338名中、319名

看護系進路内訳	人数(人)
大学	240
専門学校3年制	77
短大	1
専門学校昼2年生・ 定時制3年生(看護師コース)	1
合計	319



お問合わせ先

東京都ナースプラザ

一日看護体験学習担当

〒160-0023

東京都新宿区西新宿 4-2-19

☎ 03-5309-2063 (平日 8:45~17:00)

令和7年度

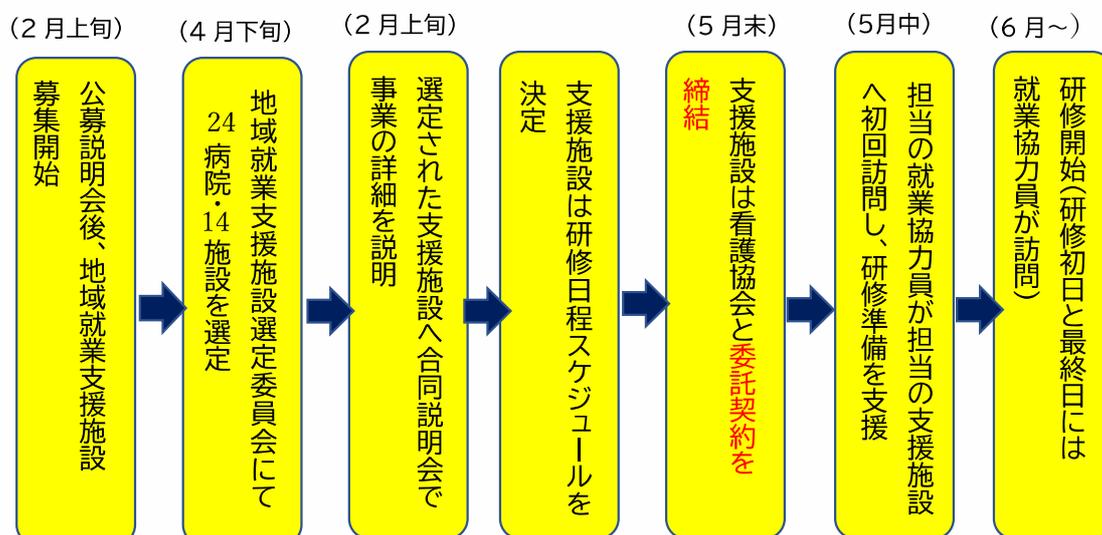
地域就業支援施設になりませんか！！

※地域就業支援施設とは、東京都の指定を受け離職者を対象に復職支援研修を実施する施設のこと

事業の目的

この事業は、離職した看護職が身近な地域で復職支援研修・再就業相談等を受けられる就業支援の仕組みを整備することで、潜在看護職の就業意欲を喚起し、再就業の促進を図ることが目的です。

公募説明会～研修開始までのながれ



※就業協力員とは、都知事の委嘱を受けて、看護師等の就業の促進・看護師等の確保のため、支援施設の研修企画等に関する支援を行う。また、再就業への就業相談を実施する。

地域就業支援施設にとってのメリット

- 🏠 自施設のPRにつながる
- 🏠 東京都ナースプラザのホームページ、インスタグラム、フェイスブック、チラシ等を使って、都内全域に施設名を広めることができる
- 🏠 職員の採用につながる
- 🏠 自施設の看護の特徴や強みを語るができ、看護が好きだと認識できる
- 🏠 職員が生き生きと働く現場を見せることができる



東京都ナースプラザ 看護師等確保対策事業係

【お問い合わせ先】 TEL 03-6276-1718

【メールアドレス】 shien@np-tokyo.jp



令和6年度プラチナナース就業継続支援事業

第2回 プラチナナース施設管理者セミナー

プラチナナースを活かす 人的資源管理

受講料
無料



これからは働く側も高年齢化の時代です。どうすればより良く、より長く活躍してもらえるのか。人材活用の見直しや経営戦略の明確化について考えてみませんか。

講師

福井 トシ子氏

国際医療福祉大学大学院 副大学院長・教授
前 日本看護協会 会長

開催日時

令和7年 3月4日 火

13:30~16:15

WEB同時開催

「令和7年度 プラチナナース就業継続支援事業説明会」と同日開催です。
上記の開催時間は事業説明会を含みます。

会場

東京都ナースプラザ

対象

都内の病院・施設の管理者および
看護管理者、人事採用の職務にある方

定員

80名

応募締切

2月26日(水)

応募方法

東京都ナースプラザホームページより
お申込ください


<https://www.np-tokyo.jp/>

東京都ナースプラザ

検索

お問い合わせ先

東京都ナースプラザ プラチナナース支援係

新宿区西新宿4-2-19(東京都看護協会会館内) TEL.03-6304-2940

【アクセス】 ●都営大江戸線「西新宿五丁目駅」出口A1またはA2から徒歩4分

●東京メトロ丸の内線「西新宿駅」2番出口から徒歩10分

東京都ナースプラザ / 設置主体



東京都 / 運営受託者



公益社団法人
東京都看護協会
TOKYO NURSING ASSOCIATION

就業中で定年が近い方へ

2025年2月6日
東京都ナースプラザ

「就業・定着奨励金」



最後の
ご案内



プラチナナースセミナーの
受講証をお持ちの方！

令和7年6月までに再雇用・再就業で
最大**20万円**の奨励金

必
見

定年退職を迎えて再雇用の方は、
定年退職翌日から奨励金対象期間がスタート！

奨励金の申請を忘れずに！

詳しくは、ホームページを確認してね！



東京都ナースプラザ

〔設置主体〕  東京都

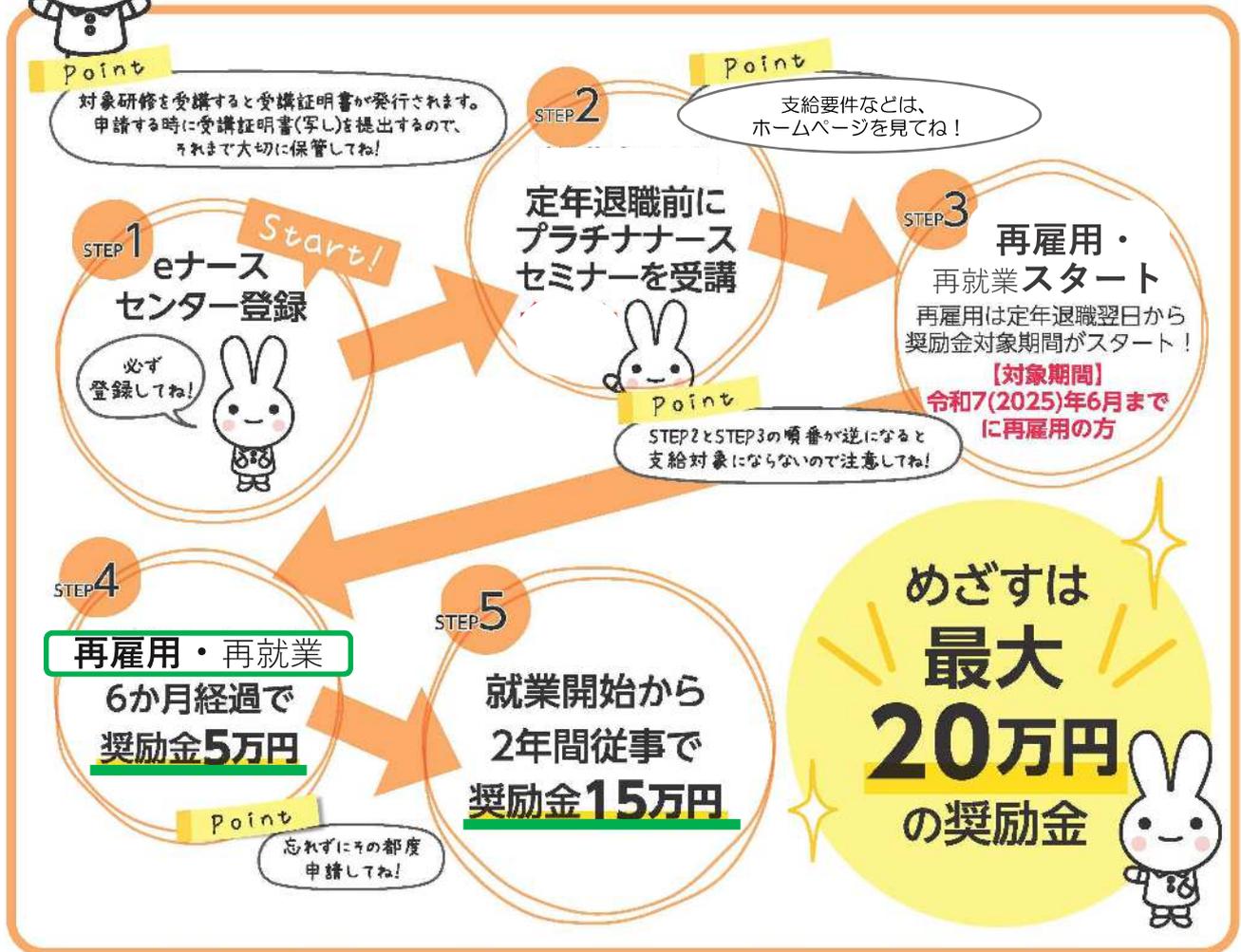
〔運営受託者〕

 公益社団法人
東京都看護協会
TOKYO NURSING ASSOCIATION

就業中で定年が近い方へ



定年退職後、同施設に再雇用されることも再就業とみなし、「就業・定着奨励金」支給の対象になります。また別の施設に新たに就業することも対象です。



よくある質問

Q 対象研修の受講期限を教えてください。

A 対象研修は令和7年1月までに受講してください。また、令和7年6月までの再就業・再雇用が対象となります。

Q 定年退職で再雇用(再就職)になります。対象研修の受講のタイミングを教えてください。

A 在職中(定年退職日前)にプラチナナースセミナーを受講してください。

順番が逆になると支給対象にはなりません。

Q 年度更新(派遣の契約更新も同様)は、更新日以降に新しい職場へ再就業した扱いとなりますか。

A 『継続』が前提とされている年度更新(契約更新)の場合、就業が継続しているため申請は認められません。ただし、応募して選考の結果採用された場合は、新しい職場に再就業したと考えられますので、新たな雇用となる前に研修を受講し、6か月経過後に申請をしてください。

Q 再就業後、転職をしました。就業の継続期間などに影響はありますか？

A 退職の翌日から起算して1か月以内に転職した場合は、離職期間も含めて一つの就業期間とします。

東京都ナースプラザ 就業・定着奨励金係

専用ダイヤル 03-6304-2611

詳細は「東京都ナースプラザホームページ」をご覧ください。

〒160-0023 東京都新宿区西新宿4-2-19

メールアドレス shoreikin@np-tokyo.jp

<https://www.np-tokyo.jp/>



対象施設

- 都内200床未満の病院（直近3ヶ年に支援を行った病院を除く）

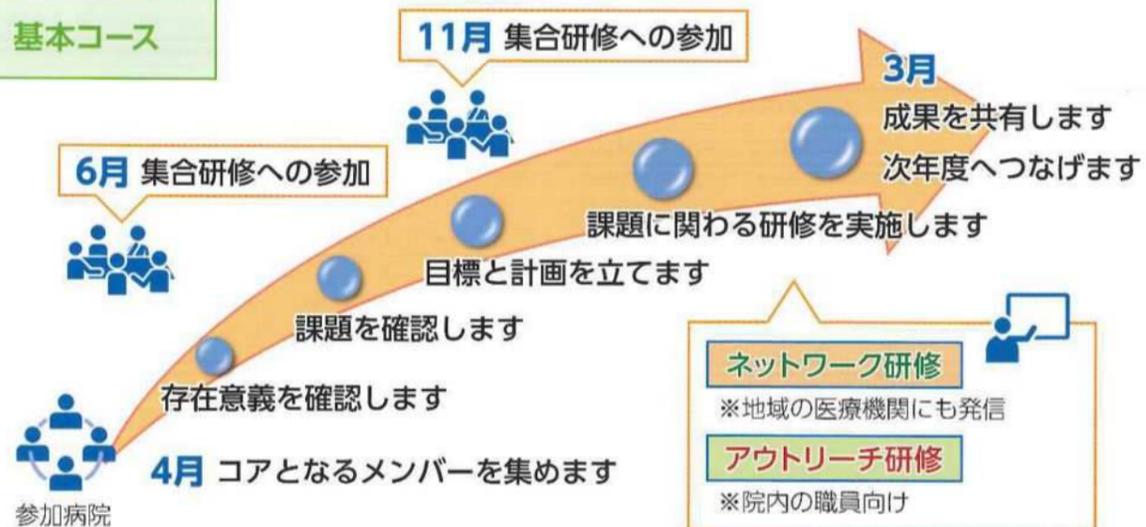
支援方法

- 就業協力員が月1回病院を訪問し、看護の質向上や勤務環境改善などに向けた病院の取り組みに対して直接、助言・相談などを行います
- 取り組みに必要な研修の企画や外部講師招聘、地域への発信やオンライン開催のサポートを行います
- 無料でご参加いただけます。取り組み内の研修会にかかる費用は原則、東京都が負担します



1年間の取り組みのプロセスとスケジュール

基本コース



認定看護師による 集中支援コース

看護の質の向上のため認定看護師が複数回訪問し、実践指導等を実施（基本コースに付随）



認定看護師

計画

訪問・情報収集
支援内容検討

実践

病棟内ラウンド、カンファレンス等参加
講義、指導、相談（意見交換）等

評価・分析

評価分析支援
次年度に向けて

東京都看護職員定着促進支援事業

アウトリーチ型支援事業に 参加しませんか

『こうしたい
をカタチに』
を一緒に!!



- 就業協力員が病院を訪問して看護管理者の「こうしたい」「こんな取り組みをしたい」等々自施設の課題に取り組むプロセスを1年かけてお手伝いします

2024年 Vol.2

【お問合せ】 東京都ナースプラザ 看護師等確保対策事業係

専用ダイヤル **03-6276-1718** 〒160-0023 東京都新宿区西新宿4-2-19



東京都ナースプラザ

【設置主体】 東京都

【運営受託者】



基本コース

Part 1

認知症看護とユマニチュードを学び、日々のケアに取り入れたい!

M病院は地域のリハビリテーション病院としての役割をもつ病院です。看護部長はグループ内より異動したばかりで久しぶりの病院勤務でした。認知症患者の尊厳を守るケアになっているか気になっており、チェックシートを作り現状把握に努めていました。アウトリーチ型支援事業に参加して認知症看護について考えることで、管理者としてのスキルアップとスタッフがやりがいを感じられる職場作りができればと考えて応募しました。

M病院のめざす姿を話し合う中で、看護部長は「認知症や寝たきりの状態になっても大切にされていると、本人も周囲も感じられるようなケアを提供したい」という思いを看護師長たちに伝

えました。そして、「認知症看護」の知識と「ユマニチュード」の哲学、技法を学習し実践することで、そのめざす姿に近づけると考え、ネットワーク研修を実施しました。

研修後は「スタッフが患者の行動を制止するのではなく、その行動の理由を聞くようになって、不穏状態になることがあった患者さんもスタッフと笑顔で話す姿が多くなった。共に良い変化が得られている」と看護部長は感じています。また、先輩後輩関係なく、ケアに関して意見が言えるような関係性が築けています。次年度から認知症チームを作り、活動していく予定です。

Part 2

心理的に安全な職場を作りたい!

医療療養型病院のG病院は、看取り目的や脳血管障害・心疾患などの後遺症で寝たきりの患者さんが多く、コミュニケーションが困難な方も多く入院しています。看護職員は新卒者から70歳代まで年代・経験値ともに幅広いのが特徴です。看護部長は、以前より年間を通して研修を受講できる教育体制を構築することで、看護職員の学習に対する意識を改革し、看護の質の向上を図りたいと考えていました。しかし、ベテランスタッフの中には変革に抵抗感を示す者もいます。また、ここ数年離職率も高く、経験値の違うスタッフ間で自分の意見が言いづらい環境も一因ではと感じていました。「心理的安全性」が担保される職場に変えたいと思い、この事業に応募しました。

開設以来初めて外部講師を招聘し、「心理的安全性」をテーマにネットワーク研修を開催し、院内からも多くの職員が参加しました。また、アウトリーチ研修では他院の皮膚・排泄ケア認定看護師により、講義のほか褥瘡委員会の回診時同行指導を受けました。褥瘡委員を中心に知識、技術を吸収し、根拠を持って指導ができるようになり、指導される側も納得してケアができるようになりました。褥瘡ケアが変化してきているという声もあり、心理的安全性の講義との相乗効果が表れています。そして、今まで発言したことのない看護助手が朝のミーティングで発言するようになったことも看護部長は嬉しく感じています。

Part 3

看護記録の見直しにより患者の傍らに行く時間を増やし、本人・家族の気持ちに寄り添ったケアを提供したい!

D病院は、脳血管障害後の患者が多く、急性期からの転院後1~2週間で見取られる場合もあるため、看護職員は「終末期患者の看護」にモチベーションが上がらず、新しいことへの導入に前向きとは言い難い状況でした。また、看護記録については常勤のリーダーが看護計画の立案・修正等を担っており、記録するのが時間外になることも多く、負担が大きいことが課題でした。看護管理者としては、看護記録を簡素化することでできた時間を患者の傍らに行く時間に充ててほしいと感じており、看護記録を見直すために外部の力を借りようと事業に応募しました。

見直しに取り組む中で、より患者の状態がわかる記録にしようと、職員から積極的に意見が出るようになりました。この過程を踏まえ、「終末期看護におけるやりがい感の向上」をテーマにネットワーク研修を開催しました。

当初の目的であった「記録の簡素化によるベッドサイドケア時間の確保」から、「より良いケアのために看護が見える看護記録の質向上」を看護職員自ら考える取り組みに、バージョンアップできたと感じています。

Part 4

風水害時、在宅人工呼吸器使用の神経難病患者が安全に安心して避難入院できる仕組みを作りたい!

B市は、2019年の台風被害を教訓として「B市難病対策地域協議会」で災害対策を協議してきました。C病院は「東京都神経難病医療協力病院」であり、「風水害時の在宅人工呼吸器の神経難病患者」の避難入院受け入れ施設となっています。しかし、災害時受け入れへの具体的な対策は進んでおらず、病院内の職員への周知もできていませんでした。C病院の看護部長は、今年度、上記協議会の委員を務めることになり、災害時に地域の難病患者さんにできることは何か、受け入れ体制や他病院との連携方法などに悩んでいました。この課題に取り組むきっかけとして、アウトリーチ型支援事業に応募しました。

参加後、まず神経難病患者の現状や避難入院の課題について、事務局や協議会委員長と話し合い、地域の難病患者さんに

対しては事前面談と病院見学を実施しました。参加された患者さんからは「安心しました。C病院に避難入院したいと思えます。」との言葉を頂くことができました。

また、神経難病患者の看護についてネットワーク研修を開催したところ、地域の病院、訪問看護ステーション、デイサービスセンター、保健所からの参加がありました。この研修で、患者さんの動けない、伝えられないもどかしさなどを再認識し、看護部長自身、神経難病患者さんの看護を改めて考える機会となりました。また「職員も災害時避難入院を受け入れる役割を考えてくれているんだ」と感じることもできました。まだ始まったばかりですが、避難入院の仕組み作りを医療圏内の病院にも情報発信し、協力していきたいと思えます。

アウトリーチ型支援事業 参加事例の取り組み紹介

認定看護師による集中支援コース

Part 1

褥瘡ケアの質の向上を図り、褥瘡発生率を減少させたい!

A病院は医療・看護の切れ目ないサービスの提供を目標としています。認定看護師や特定分野の看護師がいないため、看護の質向上に取り組みたいと考える職員はいても、活動できない状態でした。皮膚・排泄ケア認定看護師がいない中、褥瘡予防委員会は毎月開催していましたが、2023年度の褥瘡発生率は全国平均よりかなり高く、看護部長は看護職員の褥瘡に対する関心や予防に向けた意識が低いのではないかと問題に感じていました。

そんなとき、2024年度よりアウトリーチ型支援事業に「認定看護師による集中支援コース」が新設されることを知り、職員からも看護の質向上に取り組みたいという声があがりました。看護部長は1年間を通して認定看護師の実践支援を受けることで患者さんの褥瘡発生を少なくすること、またキャリアアップを目指し活動する職員が出てくることを期待して、事業に応募しました。

同じ医療圏の皮膚・排泄ケア認定看護師の支援を受けることになり、毎月の講義・演習で正しいケアの方法や褥瘡に対する知識を学んでいます。ラウンドを行ってもらうことで職員からは「今、困っていることへの提案をもらえることがありがたい」との声がありました。また、レクチャーを受けた「創洗浄」を実際にケアで実践したところ、1ヶ月で改善が見られた症例がありました。褥瘡予防委員会からは「認定看護師の判断や助言が的確で、私も同じように活躍できる看護師になりたいと感じた」との声が聞かれました。認定看護師の継続的支援から、看護の質向上とともに看護職員のキャリアアップにつながっていくことを期待しています。

また、本年度「認定看護師による集中支援コース」に参加し、支援を受けている様子を当院インスタグラムで紹介して院外にも発信しています。

Part 2

感染リンクナースの活動の取り組みを進めたい!

K病院は、ケアミックス型の病棟で構成された慢性期医療を担う病院です。職員が感染対策行動を理解し、患者さんに安全な療養環境を確保できる体制を作るため、感染対策委員会の下部組織として、2024年度から「感染対策ナースの会」の発足を計画しました。これを機に「認定看護師による集中支援コース」に応募し、講師として近隣病院の感染管理認定看護師から協力を得ることができました。指導対象は感染リンクナースとし、感染リンクナースが自部署のスタッフへ根拠をもって伝達することで皆が正しい感染対策行動がとれることを目標に、1年間の支援計画を講師と共に作成しました。

毎月、感染リンクナースが認定看護師から講義・演習を受け、部署ラウンドも一緒に立ち合い、その場での気づきや課題を共有しています。その後、感染対策委員会で検討し、標準予防対策

への実施状況や環境について、改善に向けた行動がとれるよう取り組みを進めています。

感染リンクナースからは「ラウンドの際にスタッフがやっていることを否定するのではなく、自ら気づかせるような声掛けを行っており、認定看護師さんがスタッフに関わる姿を見て学ぶ点があります」「認定看護師さんが支援に入ってくれることが大きな刺激になっています」などの声がありました。また、「曖昧にしていたことを整理して、自分自身が正しい知識をもってスタッフに伝えていきたい」「東京都感染対策リーダー養成研修に行きたい」など感染リンクナース自ら学ぶ姿勢をみせてくれ、看護部長は嬉しく感じています。

今後も、感染リンクナースが知識・技術を学んでいくことで職員が正しい感染対策行動がとれるよう取り組みを進めていきます。

Part 3

摂食・嚥下ケアの向上のためチームを作り、職員間のコミュニケーションも深めたい!

O病院は、一般障害病棟を有し外来透析・入院透析の患者も受け入れています。現在、病院の建て替え工事中で来春に開設を予定しています。開設に向けて、町のかかりつけ医の役割を担うような病院を目指し、入院患者の受け入れ増、退院・転院患者支援の充実を図るべく準備を進めているところでした。経口摂取が困難な患者さんが多く、月2回応援で来るグループ病棟の言語聴覚士から、困っていることへのアドバイスをもらっているものの、十分な支援とは言い難い状況です。そのため、摂食・嚥下ケアチームを編成して組織の構築と活性化を目指したいと思い、「認定看護師による集中支援コース」に応募しました。

同じ医療圏の病院の摂食・嚥下障害看護認定看護師から支援を得ることができ、初回訪問では、食事前のセッティングや口腔

ケアの様子を見てもらいました。看護部長は、職員が行っているケアを実際に見てもらい、その場でアドバイスがもらえたり、困っていることを相談できることがありがたいと思えました。そして、活動に参加しているメンバーには、話す機会を増やし自信をつけて看護実践できるよう支えていきたいとの思いを伝えました。

2回目の訪問から、認定看護師に聞きたいことや相談したい事例について、事前にメンバー同士で話し合うようになり、病棟ラウンド時に患者の状況やケアに関して、より効率的に助言を受けられるようになりました。新病院スタートに向け、よいコミュニケーションがとれるチーム作りを進めていきたいと看護部長は思っています。

看護管理者の皆さまへ

令和7年2月6日
東京都ナースプラザ

東京都看護職員定着促進支援事業

令和7年度 アウトリーチ型支援事業が
動き出します！
事業に参加しませんか？

アウトリーチ型支援事業は200未満の病院の看護管理者を支援させていただく事業です。職場の課題を解決する「基本コース」の中に、令和6年度より「認定看護師による集中支援コース」が始まりました。

「認定看護師による集中支援コース」は1年間を通して認定看護師から直接実践指導を受けることで、看護の質の向上につながっています。認定看護師が多く在籍している大規模病院等から、毎月1回程度の講師派遣に協力をいただき、協力体制づくりのお手伝いをしたいと考えています。地域の中で互いに顔の見える連携を築いていきませんか？

令和7年2月7日(金)
13:30～15:00事業説明会
ハイブリッド型開催

お問合せ

ご質問
認定看護師派遣
について
訪問でのご説明

4月3日(木)

参加病院
応募締め切り

4月中旬～下旬

訪問開始

- 事業の特徴をお伝えします。
- 事業参加は1年間、参加は無料です。**
- ネットワーク研修を主催できます。
(東京都ナースプラザが共催としてお手伝いします。)
- 院内研修を企画開催できます。
- 研修開催に係る経費は東京都が負担します。**

- ご質問をお受けします。
ホームページ内 お問合せフォームは**こちら**
または 下記の連絡先よりお願いします。
- ご希望あれば個別の訪問をいたします。

- 「認定看護師による集中支援コース」につきましては、応募書類による審査があります。
- 認定看護師とのマッチングはナースプラザが行います。

- 支援が決定したら順次訪問させていただきます。

東京都ナースプラザ
看護師等確保対策事業係

✉ : shien@np-tokyo.jp

TEL: 03(6276)1718

FAX: 03(6276)7701

事業の
お申込は
こちら ➡東京都ナースプラザホームページ
看護職員定着促進支援
(アウトリーチ型支援)https://www.nptokyo.jp/facility/outreach_facility/